

# シャボン玉石けんとSDGsのつながり

2019年7月30日

シャボン玉石けん株式会社

研究開発部 兼 品質保証部  
川原貴佳

# 1. シャボン玉石けんとSDGsの親和性



# 会社概要

理念：健康な体ときれいな水を守る



本社；福岡県北九州市若松区

設立；1949年5月

売上；66億

資本金；3億円

社員数；130名（平均年齢；34歳、男女比；4：6、障害者の雇用：1名、高齢者雇用4名）

事業内容

無添加石けんの製造販売

シャンプー・リンスの製造販売

ハミガキの製造販売

漂白剤・重曹などの雑貨品の製造販売

消火剤の製造販売



# シャボン玉の歴史

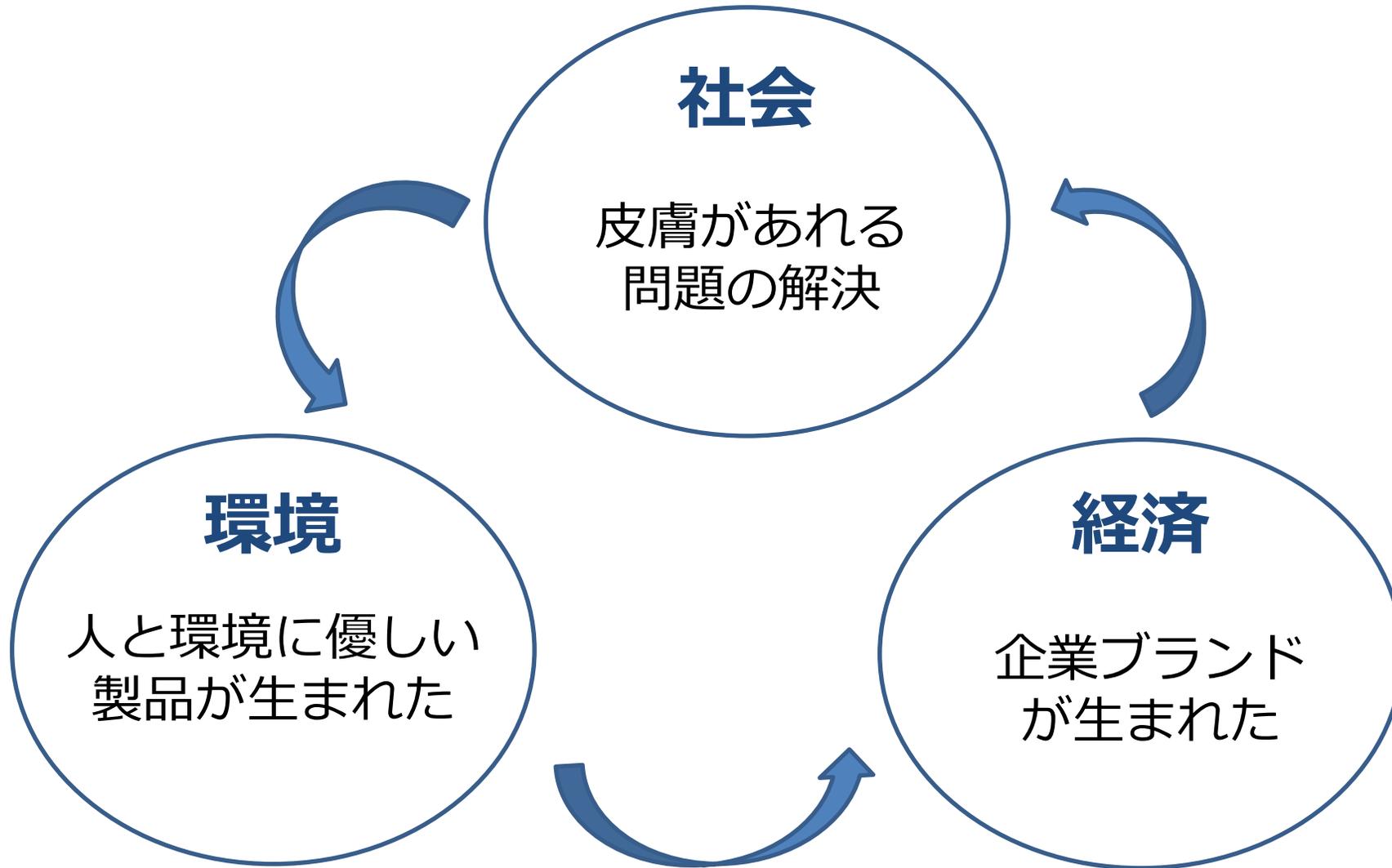
**1910年 「森田範次郎商店」創業 「石けん問屋として誕生」**

**1961年 合成洗剤「商品名ニューゴーセイ新洗剤」を発売**

**1971年 国鉄（現JR九州）より機関車を合成洗剤で洗浄すると  
錆びがでることから、当社に「無添加石けん」の製造打診**

**1972年 無添剤石けん（JIS規格第一種）開発に成功  
試作品を使用すると長年悩んでいた「皮膚湿疹」があっというまに完治**

**1973年 合成洗剤の販売を中止し、無添加石けん全面切替**



# 製品とSDGs

合成洗剤（合成界面活性剤）との比較



「健康な体ときれいな水を守る」に基づいた製品は、目標3（健康）・14（海）・15（陸）に貢献

2. パートナーシップを通じた  
新しい商品（石けん系泡消火剤）の開発・普及



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



# 石けん系消火剤の開発経緯

(震災時の課題) 家屋の倒壊によって・・・

- ・消火栓が使用できない
- ・水タンク搭載の大型消防車が移動できない

1995年 阪神淡路大震災



1999年 北九州市『合成界面活性剤系消火剤』による消火活動開始  
翌年、東京消防庁も同様な消火活動開始

社会的課題の解決から、  
石けん系消火剤の開発が始まった

2001年 『石鹼を主成分とした新消火剤の開発』開始  
北九州市消防局、シャボン玉石けん(株)、(株)古河テクノマテリアル

2003年 総務省消防庁『消防防災科学技術研究推進制度』  
北九州市立大学国際環境工学部が参加

2005年 『新消火剤のための新型消防車両の開発』開始  
(株)モリタが参加

2007年 『ミラクルフォーム』『ミラクルCAFS』販売開始



平成19年度産学官連携功労者表彰  
総務大臣賞を受賞

国内のパートナーシップを通じて、石けん系消火剤が開発された

# 石けん系泡消火剤の現状



## 建物用

- ◆ 2007年から日本国内で販売開始
- ◆ 全国の地方自治体に導入実績あり
- ◆ 日本でのさらなる拡大を目指す

## 森林火災用

- ◆ 2009年から森林火災用石けん系消火剤の研究開発開始
- ◆ 2011年、ヘリコプターからの散布実験にて性能確認
- ◆ 平尾台での野焼きでの延焼拡大抑制などの性能確認

## 泥炭火災用

- ◆ 2011年より、現地調査
- ◆ 2013年より、JICA草の根協力事業にて、協力
- ◆ 2016年、JICA中小企業海外展開支援事業 案件化調査
- ◆ 2017年、JICA中小企業海外展開支援事業 普及実証事業に採択

# インドネシアにおける目標13（気候変動）への貢献

**13** 気候変動に  
具体的な対策を



森林・泥炭火災

↓

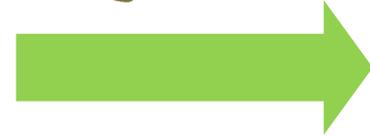
CO2排出

生態系の消失

大量の水の消費  
(現状、水による消化が主)

人体への影響  
(従来型の消火剤の問題)

脆弱な消防体制



CO2排出抑制

生態系の復元

水の消費抑制

人体への影響軽減

現地消防団のキャパビル

石けん系泡消火剤および  
ノウハウの導入

シャボン玉石けん

**17** パートナーシップで  
目標を達成しよう



JICA

北九州市消防局

インドネシア環境林業省

北九州市立大学

IGES

**3** すべての人に  
健康と福祉を



**4** 質の高い教育を  
みんなに



**6** 安全な水とトイレ  
を世界中に



**14** 海の豊かさを  
守ろう



**15** 陸の豊かさも  
守ろう



インドネシア政府等による調達

会社の経済成長・社会貢献

日本の地方創生

インドネシア政府の目標13に貢献

**8** 働きがいも  
経済成長も



**9** 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



### 3. 今後の展望



# 消火剤の取組みとSDGsとの関連性



最後に・・・



## SDGsのメリット

- 企業活動を、「経済面 + 社会・環境面」で分析することができる
- 社会的活動において、社会・環境面でのリスクを回避するための分析ができる
- 経済的活動を社会的活動と連結して活動できるため、企業活動を効率的に行うことができる
- 特にコミュニケーションの難しい、海外のパートナーと、SDGsという「共通言語」で話し、同じゴールに向かうことができる